



平成 19 年 5 月 2 日

各 位

会 社 名 エバラ食品工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 森村 忠司  
( J A S D A Q ・ コード 2819 )  
問合せ先 専務取締役 水落 敏  
( TEL . 045 - 314 - 0121 )

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 11 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

- 1 . 平成 19 年 3 月期連結業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)  
(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A ) (平成 18 年 5 月 11 日発表)	43,566	1,246	573
今 回 修 正 予 想 ( B )	42,859	1,383	701
増 減 額 ( B - A )	706	137	127
増 減 率 ( % )	1.6	11.0	22.2
前期 (平成 18 年 3 月期)実績	47,059	1,575	379

- 2 . 平成 19 年 3 月期個別業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)  
(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A ) (平成 18 年 5 月 11 日発表)	39,499	973	419
今 回 修 正 予 想 ( B )	38,424	1,070	567
増 減 額 ( B - A )	1,075	96	148
増 減 率 ( % )	2.7	10.0	35.3
前期 (平成 18 年 3 月期)実績	38,899	1,248	355

上記業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

### 3. 修正の理由（連結・個別）

売上高につきましては、競合環境の激化や青果価格の高騰の影響により『肉まわり調味料群』および『野菜まわり調味料群』の最需要期における売上高が落ち込み、中間期の実績は計画値を下回りました。下期においては『鍋物調味料群』が堅調に推移したことに加え、その他の商品群においても既存品のリニューアルおよび新商品の投入を積極的に行った結果、売上高は順調に持ち直してまいりましたが、中間期の売上高の減少を補うまでには至らず、平成 18 年 5 月 11 日に発表しております業績予想数値をわずかに下回る見込みであります。

一方、経常利益につきましては、期首より進めてまいりました販売費及び一般管理費を中心とする全社的なコスト削減策の効果により、予想数値を上回る見込みであります。また、当期純利益につきましては、特別損益の増加により予想数値を上回る見込みとなりました。

以 上